

2024年度 大阪府訪問看護実践研修事業 教育ステーション事業

南河内ブロック

訪問看護ステーションやすらぎ

山尾 照代

<目標>

1. 地域で顔の見える関係作りと訪問看護師の知識の底上げと定着を目指す
2. ハラスメントについての知識を深め、体制の整備, 職場環境の整備を促進する
3. コンサルテーションの周知と活用数を増やす

<計画>

(1)研修事業		集合研修4回
(2)府民への相談支援事業		対面説明会2回
(3)看護体験研修事業		①看護業務3名 ②管理業務1名
(4)電話FAX相談		実績8件
(5)コンサルテーション事業		①電話サポート3件 ②対面サポート2
(6)その他		計画なし
地域における協力体制		①協カステーション7事業所 ②協カNs2名

<実践内容>

(1) 研修事業	集合研修4回
(2) 府民への相談支援事業	対面説明会2回
(3) 看護体験研修事業	①看護業務3名 ②管理業務2名
(4) 電話FAX相談	実績8件
(5) コンサルテーション事業	①電話サポート2件 ②対面サポート2件
(6) その他	計画なし
地域における協力体制	①協力はステーション7事業所 ②協力Ns2名

(1) 研修事業

① 2024年5月15日

● テーマ

「自宅」という暮らしの場での
感染対策の考え方とポイント

● 場所

すばるホール

● 講師

阪南中央病院

感染症看護専門看護師

宇佐見 巳弥 氏

● 参加者 目標人数50人

実人数 38人

大阪府訪問看護実践研修事業 教育ステーション事業 訪問看護ステーションやすらぎ

「自宅」という暮らしの場での 感染対策の考え方とそのポイント

～ 感染症予防・蔓延の防止のための研修・訓練に役立つ～

コロナウイルス・ノロウイルスなどの感染症に対し療養状況に応じた対策
「この家のイエローゾーンとレッドゾーンはどこ？」など、症例で解説します。



日時 2024年5月15日(水)
14:30～15:30 (ブロック会議後より開始)

場所 富田林桜ヶ丘町2-8 すばるホール 清光の間

阪南中央病院 感染症看護専門看護師
講師 宇佐見 巳弥

お申込みは右のQRコードからどうぞ!

・お申込後に自動配信メールが届かない場合は
メールの受信設定をご確認ください。
URL▶ <https://forms.gle/w7TEhznH4DrChgHq5>



【お問い合わせ】訪問看護ステーションやすらぎ・山尾 ☎ 072-336-0027

(1) 研修事業

② 2024年7月24日

● テーマ

「摂食嚥下ケアの基本
アセスメント方法」

● 場所

すばるホール

● 講師

阪南中央病院

言語聴覚士 吉田 律子 氏

● 参加者 目標人数50人
実人数 30人

2024年度 大阪府訪問看護実践研修事業 教育ステーション事業 南河内ブロック



2024年 **7月24日 水** 14:30-15:30

会場 すばるホール 清光の間

講師 社会医療法人 阪南医療福祉センター
阪南中央病院 言語聴覚士：吉田律子 先生

対象者 医療・介護職のみなさま

定員 50名 **参加費** 無料

お申込みは
QRコードから
お願いします



「食べてくれない」「何を食べさせたら良い？」などの相談で悩んだ
経験はありませんか？

訪問看護師には、摂食嚥下機能に関するアセスメントが求められます。
摂食嚥下の基礎や正確なアプローチ方法など一緒に学びましょう。

訪問看護ステーションやすらぎ
担当：山尾 照代

☎ 072-336-0027
(平日9:00~17:00)

(1) 研修事業

② 2024年11月2日

● テーマ

「ACP研修」

● 場所

松原テラス輝

● 参加者

目標人数50人

実人数 33人



2024年度 大阪府訪問看護実践研修事業 教育ステーション事業

「令和6年度大阪府人生会議相談対応支援事業」
一般社団法人 大阪府訪問看護ステーション協会
南河内ブロック教育ステーション
訪問看護ステーションやすらぎ

「人生会議(ACP)」の実践に必要な基本的概念や知識・方法がわかる

「人生会議(ACP)」
支援実践人材育成研修

開催日時 2024年 11月2日 土 14:00 ~ 17:00

▶ 場 所 松原テラス(輝) 多目的ホール

▶ 定 員 50名 (定員超過の場合、受講者の調整をさせていただきます)

▶ 対象者 地域包括ケアシステムに関わる医療・介護・福祉専門職
(看護師、セラピスト、MSW、ケアマネジャー、医師、看護学生等)

プログラム

▶ 講 義
講師：濱吉 美穂 氏 (動画)
(佛科大学保健医療技術学部 看護学科 老年看護学領域)

▶ グループワーク (ロールプレイ)

参加費 無料

お申し込み／募集締め切り

申込み 右のQRコードからお申込みください
申込みフォームURL(<https://forms.gle/rUpbt6T1sYck7q9A>)

申込締切 2024年10月18日(金)



お問合わせ 訪問看護ステーションやすらぎ(担当:山尾)
電話 072-336-0027 FAX 072-333-2109

(1) 研修事業

④ 2024年11月27日

● テーマ

在宅での褥瘡予防ケア

● 場所

すばるホール

● 講師

阪南中央病院

皮膚排泄ケア認定看護師

中矢 逸美 氏

● 参加者

目標人数50人

実人数 42人

2024年度 大阪府訪問看護実践研修事業 教育ステーション事業
一般社団法人 大阪府訪問看護ステーション協会
南河内ブロック教育ステーション
訪問看護ステーションやすらぎ

在宅での褥瘡予防ケア

～体位変換・除圧対策を
もっと簡単にもっと身近に～



開催日時
11月27日(水) 14:30～15:30

◆ 場 所 すばるホール(富田林市)
◆ 定 員 50名(定員超過の場合、受講者の調整をさせていただきます)
◆ 対象者 在宅医療に関わる訪問看護師、理学療法士、ケアマネジャー等

プログラム
◆ 講 義
講師： 阪南中央病院
皮膚・排泄ケア認定看護師 中矢 逸美

褥瘡予防や悪化防止に大きな影響を与えるポジショニング。ポジショニングピローを使った正しいポジショニングは難しいが同じ方法でできない！などポジショニングは難しい印象が使用できるケア用品に限りがある在宅ケアの中で、体位変換褥瘡ケアに慣れていないスタッフや高齢のご家族でも協力し簡単な方法を一緒に考えましょう。

お申込み／募集締め切り

申込み：右のQRコードからお申込みください
申込みフォームURL(<https://forms.gle/ad32GwNYvwmRmEz6>)
申込締切：2024年11月20日(水)
お問い合わせ：訪問看護ステーションやすらぎ(担当:山尾)
TEL:072-336-0027/FAX:072-333-2109



参加



(1) 研修事業全体を通しての気づき

●効果・課題

1. 自宅という暮らしの場での感染対策の考え方とポイント

COVID-19のゾーニングなど、症例を用いて説明があり、勉強になった。様々な感染症を引き起こす細菌・ウイルスに対しての防御対策など、自事業所の研修にも取り入れられると意見があった。

2. 摂食嚥下ケアの基本・アセスメント方法

解剖学的な部分に時間を割いていたため、もっと踏み込んだ専門的な知識を教えて欲しかったという意見があった。

3. ACP研修

「難しいと感じた」「自信につながったと言えないが体験できたことがよかった」という意見やすぐに結果を出そうとする自身の特徴に気づき、くり返し行うことの重要性を感じ取られていることは成果だった。看護師以外が10名と少なく、看護師が主で話している場面が多かった。宣伝方法の工夫が必要。

4. 在宅での褥瘡予防ケア

褥瘡予防対策に悩んでいる場面の質問など、質疑応答ではかなり意見が飛び交った。自宅にあるものを工夫しながら除圧・ポジショニングをすることなど学ぶ機会となったと意見があった。

(2) 府民への相談事業

① 2024年7月30日

● テーマ

訪問看護とは何か

● 場所

阪南中央病院

● 講師

訪問看護ステーションやすらぎ
山尾 照代 氏

● 参加者

1人

(申込者 3人)

2024年 大阪府訪問看護実践研修 教育ステーション事業

こんにちは！ 訪問看護です

在宅医療を応援します！

訪問看護のことなら何でもご相談ください



訪問看護ってどんなサービス？

利用したい時は誰に相談？

年齢制限はある？

費用は.....？ など

疑問にお答えし、訪問看護について知っていただく機会を作ります。
障害や病気があっても住み慣れた地域で暮らし続けたいと思う方
のお役に立てれば幸いです。

日時 7月30日(火) 15:00~16:00

場所 阪南中央病院 2階講義室

講師 訪問看護ステーションやすらぎ
山尾 照代

対象 大阪府民の方

お申し込みは
QRコードから
お願いします



訪問看護ステーションやすらぎ
☎072-336-0027 担当者：山尾照代

(2) 府民への相談事業

②2024年9月30日

●テーマ

在宅看取りで訪問看護ができること

●場所

阪南中央病院

●講師

訪問看護ステーションやすらぎ
山尾 照代 氏

●参加者 1人

(申込者 1人)

2024年度 大阪府訪問看護実践研修事業 教育ステーション事業

こんにちは！ 訪問看護です

在宅医療を応援します！

訪問看護のことなら何でもご相談ください



在宅看取りで訪問看護ができること

最期を自宅で迎えたい方、迷っている方など、
まずは訪問看護師の役割について紹介！
またご家族と看護師の気持ちも紹介します。

日時 9月30日(月) 14:30~15:30

場所 阪南中央病院 2階講義室

講師 訪問看護ステーションやすらぎ
山尾 照代

対象 大阪府民の方

お申し込みは
QRコードから
お願いします



訪問看護ステーションやすらぎ
☎072-336-0027 担当者：山尾照代

(2) 府民への相談事業全体を通しての気づき

●効果・課題

近隣のケアマネージャーとサービス付き高齢者住宅の管理者が参加。

お一人ずつであったため、確認したい内容について具体的にお答えできる機会となった。医療保険適応の際のルールや金額、看取りの際の訪問体制についての質問があった。付き合いのある事業所に直接聞くには遠慮があり、訪問看護について理解が深まったと意見が聞かれた。

宣伝を行った後、府民から電話や事務所に直接来られるなどの問い合わせがあった。集合し講義を行う設定であったため、個別で相談や意見を聞きたいという理由で申し込みには至らなかった。

府民のニーズとしては、医療者に個別相談ができる機会がほしいと推測できる。イベントを活用しながら相談窓口を開催するスタイルが適していると考察する。

(3) 看護体験研修事業

●看護業務

実績3名（病棟看護師）

目 的： 訪問看護における制度と機能を理解する

実施日： ①2024年7月11日 2名 ②2024年12月23日 1名

●管理業務

実績2名（訪問看護管理者・次期訪問看護管理者）

目 的： 事業運営におけるマネジメントの在り方を理解する

実施日： ①2025年1月20日1名（協力ステーションで実施）

②2025年1月29日1名（協力ステーションで実施）

(3) 看護体験研修事業の気づき

●効果・課題

看護業務：同行訪問で利用者の経済的側面に対しても意識しながらケアを行っていく大切さや、必要なケアを継続するため看護サマリーの内容・退院カンファレンスの重要性について認識したと感想あり、地域包括ケアの在り方・訪問看護の機能について理解が得られた。

管理業務：マニュアル・帳票管理、新人教育や学生教育について手順書など、他の事業所の内容を確認させてもらいとても参考になったと好評であった。

(4) 電話FAX相談Q&A事業

- 受付時間 平日 10：00～16：00
- 担当者 訪問看護ステーションやすらぎ 山尾 照代
- 広報 大阪府訪問看護ステーション協会でチラシの掲載
ブロック会議で紹介
- 相談実績 8件（報酬関係6件 書類関係2件）

(4) 電話FAX相談Q&A事業全体を通しての気づき

●効果・課題

電話では聞きそびれることも多く、確認のため何度も連絡するという事態もあった。
相談内容はFAXなど書面で記載することを徹底した方がよい。

(5) コンサルテーション事業

- 広報方法 ブロック会議で周知
- 担当者 訪問看護ステーションやすらぎ 山尾 照代
 阪南中央病院 皮膚排泄ケア認定看護師 中矢 逸美
- 電話サポート 目標 3件 実績2件
 (ストーマ口周囲のスキントラブル・ストーマヘルニア)
- 対面サポート 目標 2件 実績2件
 (ストーマヘルニア)

(5) コンサルテーション事業全体を通しての気づき

- 効果・課題
研修事業の講師をした認定看護師がコンサルテーションについて説明があり、
これが2件の相談に繋がった。

地域における協力体制について

●協力ステーション	7事業所
●サポート内容	看護体験研修事業（管理業務）2回 ACPファシリテーター9人
●協力Ns	阪南中央病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 中矢 逸美 氏 阪南中央病院 感染看護専門看護師 宇佐見 巳弥 氏
●協力Nsサポート内容	研修事業講師 コンサルテーション
●協力費	合計 124,656円

地域における協力体制についての気づき

●効果・課題

協力Nsからはその方の生活スタイルに視点を当て地域の中で活動していきたいと希望され、今後も協力できる体制があると意見があった。協力ステーションに対し年度初めに具体的な協力内容の割り振り、報酬について説明の必要があった。

設定した目標の評価

1. 地域で顔の見える関係作りと訪問看護師の知識の底上げと定着を目指す

ACP研修では多職種が全体の1/3と少ない状況であったが、グループ内でのディスカッションを行うことで職種によるとらえ方や傾向が分かり合えた。地域で定着するには、回を重ねてより多くの方に参加して頂く必要がある。

2. ハラスメントについての知識を深め、体制の整備, 職場環境の整備を促進する

法定研修の一環で自事業所での体制整備ができることを目的に研修を設定したが、講師の都合で実施することができなかった。目標のためには、研修だけでなくブロック会などハラスメントをテーマにディスカッションする企画など、方法を考慮する必要があった。

3. コンサルテーションの周知と活用数を増やす

目標数は達成しておらず。専門性のある看護師に積極的に相談することにより、地域で生活する利用者の利益となり、在宅看護の知識・技術の底上げとなる。宣伝効果によって活用数を増加させるとともに、対面研修を行うことで顔の見える関係性を構築することが目標達成のカギとなると考える。

教育ステーション事業全体の効果と 次年度の課題について

- ・今年度の企画について、広報活動が不足し集客に悩む事態となった。各市の行政、ケアマネージャー、地域コミュニティを利用することで、多職種の方に事業の周知と訪問看護サービスの信頼性を繋ぐことができると考える。
- ・毎年の教育ステーション選定に苦戦する要因は、どんな活動をしているのかははっきり知らないことも要因。今回の評価についてはブロック全体で共有する必要がある。
また教育ステーションの選定後、計画の提出まで時間が限られているため、前年度から関わりを持つようなシステムが必要と感じる。
- ・協力ステーションの役割を明確化し、ブロック全体で取り組む体制づくりが必要である